



行事予定表		
1	木	内科検診／子育てサロン
8	木	カレーの日
13	火	交通安全教室(5歳児のみ参加)
〃	〃	ピヨピヨひろば
14	水	不審者対応訓練
15	木	保育園探検
20	火	つつじが丘・ふたばランド交流会
21	水	おべんとうデー／運動あそび(3歳以上)
29	木	誕生会
30	金	避難訓練

4月にお花見に行った際にとってきたおたまじゃくしが、足をだし、手を出し、ついにカエルに変身。子ども達は、不思議そうにじっと見つめている。小さく、弱々しく、まるで虫のよう。かわいそうなので、近々、田圃に返しに行く。

寒い日が続いたとたんに、急に真夏のような暑さに、まだ体力のない年少児は、体調を崩す子も。私は、もう真黒で、「こんなに焼けてしまいました」と言うのと、「年中真黒です。地でしょう」と、証拠はお見せできないが、いや、本当は色白なのです。

もうすぐ、プールも始まります。くれぐれも体調管理に気をつけて下さい。



今月の行事の中身が...



今年も2階のテラスに、ツバメがきています。可愛いヒナが産まれ、親たちがせっせと餌を運び、世話をしています。このヒナ達が元気に巣立つまで子ども達と応援して行きます！また、今年はずつマイモの苗の入荷が遅れており、苗植えも実施していませんが、4・5歳児は心待ちにしているようです。

●内科検診(1日)

15時から全園児の内科検診を行います。欠席の場合でも全員の方の受診をお願いします。

●カレーの日(8日)

先月はカレーの日が中止となりました。今年度初めてのカレーの日になります。子ども達の五感に沢山の刺激を与えながら、食への意欲へと繋げていけたらと思います。

●交通安全教室(13日)

今月までは午後に行うため、5歳児のみの参加となります。雨の日の交通安全と傘の使い方について教えて頂きます。

●不審者対応訓練(14日)

不審者が保育園に現れた場合のシミュレーションを行い、子ども達の身を守るための訓練を行います。

●保育園探検(15日)

牛久二小の1年生が授業の一環として保育園を訪問します。卒園児も沢山来園するので当日がとても楽しみです。

●つつじが丘・ふたばランド交流会(20日)

つつじが丘保育園・ふたばランドの年長児が来園します。今年も、交流をきっかけとし、他園との関わりを深めて行けたらと思います。

●おべんとうデー(21日)

食品管理の難しい季節です。お弁当は、よく冷ましてから蓋をしましょう！(お弁当箱の上)に小さな保冷剤を載せてからお弁当を包んで下さい。また、保冷剤には油性ペンで名前を書

いて下さい。)*お弁当の中には乳製品・プリン・ゼリー等要冷蔵のものや、こんにやくゼリー、楊枝やピックも入れない様をお願いします。

★お知らせ

★先月より阿部竜亮さん、山本葉さん、谷津麻衣子さんが保育補助として勤務してくれています。3人共、早く子ども達と仲良くなりたくと張り切っています。宜しくお願いします。

★福田厚美先生が20日でお産の為、退職になります。今まで色々とお難うございました。

「変身!!」

子ども達は変身が大好きです。そして、本当に変身するのです。腕をグルグル回したり、交差させて「ヘンシーン」と叫びウルトランマンになったり、仮面ライダーになつて、私を怪物や悪人に見当て短い手足で戦いを挑んできます。それが段々大勢になり、私は、広い園庭を逃げ回ります。そして、昨年はアキレス腱を切りました。▼家庭では何もできず、言う事を聞かず、何でもイヤ、バカを連発し、思いどおりにいかないとすぐにグズリ、泣いて暴れていた子が、幼稚園に入ると1ヶ月もしない内に、突然何でも自分でサツとやるようになります。お弁当・給食の準備も片づけもサツとやります。お帰りの仕度を終えると、姿勢よく先生の前に座り、身じろぎもせず絵本に集中します。お母さん方は、家では考えられないと言います。全ての子がそうではないのですが、ほとんどの子が変身するのです。あのイヤイヤ、バカの連発は、自分のことは自分で決めて、自分でやりたいのに、自分とは違うお母さんの指示・命令がうっとうしかったのではないのでしょうか。もともと自我が発達し自主性のある子が、幼稚園に入ると、自主的、自発的に、何でもやるようになるのです。反対に、お

母さんの命令に従順に従っていた子は、変身するのに時間がかかっているようです。

▼先日、昼食の時に、大声で泣いている子がいたので、どうしたのか聞いてみました。泣くばかりで何もわかりません、担任に聞いてみると、自分の思い通りにならないことがあり、「お母さん」と泣いているとのことでした。担任が一生懸命説得していましたが、自分で折り合いをつけなければ仕方がないのだから、そのまま給食にした方が良くと伝えました。それでも大きな声で泣きつづけているので、「もうお昼だし、そんなに泣いていては疲れたらう？泣くのを止めたら？」と言うと「疲れた、でも泣く」と言っていて泣いていました。給食の歌が始まると、泣きながら歌いました。給食も泣きながら食べ、口の中の食べ物が無くなると、大泣きしていました。私が「ごちそうさまでした」と手を合わせると、何と、泣きながら私に「はい、いい子でしたね」と言っていて、又食べながら泣き続けていました。きつと、何でもお母さんにやってもらい、お母さんの言うとおりにすると、いつも「はい、いい子でした」と育てられたのでしょうか。▼幼稚園はお母さんにとって都合のいい子より、たくましい良い子を育てます。幼稚園では、何でも自分の事は自分で考え、自分で決めて、自分でやり(実践)、その結果、うまくいったらもうまくやろうと考え、自分の思い通りにいかなくとも、自分のせいだから、なんとかうまくやろう(成功させよう)と挑戦します。これが「遊び」の本質です。最近、小学校以降の教育で、アクティブ・ラーニングとか、非認知的能力が社会的成功と密接に関連していると話題になっていますが、幼稚園はずっとその能力を高める事に腐心してきました。

理事長 浅田 精利

